



# かたかご

富士根北中学校学校だより

令和3年10月  
(第6号)



「かたかごの心」に生きる子ーよりよい社会を創造できる生徒ー

## 「飛翔」に込めた思い、のぞむ姿

校長 徳川 典宏

暑いと感じる日々が減り、少しずつ秋の気配が近づいていることを感じさせてくれる時期になりました。

さて、今月14日には「かたかご祭（体育の部）」があります。そのスローガンが「飛翔」と聞き、聞き慣れた、見慣れた言葉だなと思いました。しかし、その正しい意味については理解していませんでしたので調べてみました。

「飛翔」とは、

- ・空高く飛びめぐることを意味する言葉。  
もともとは昆虫や鳥などの動物が大気中を飛ぶことを表わしていましたが、現在では飛行機や物体が飛ぶ時や、人の気持ちなどを表す場合にも使われている。

と、ありました。

昨日の決起集会で生徒会本部役員の人より、かたかご祭スローガン「飛翔」に込めた思いを発表して貰い、それを聞いているうちに、更にこんな思いもあるんだろうなと思い浮かんだことがありました。

その思いというのは、「鳥が羽ばたくように活躍したい」「かたかご祭を今まで以上に発展させるために大活躍したい」「皆で協力し合い、大きな成果、成就感を味わいたい」等の意味も込められているんだろうなと思いました。

羽ばたくような活躍、発展させるための活躍、皆で協力し合って得る成果や成就感、これらのためには、計画、準備、練習の段階から、一人一人が**目標をもち、粘り強く努力をし続けることと、思いやりのある言動で支え合う**ことが大切になってくるのではないのでしょうか。

更に、現在の生徒会のスローガンは「えがく」です。このスローガンに込められた思いを皆さんは覚えていますか？

それは、「先輩たちが築き上げてきた伝統、即ち、根北色に染まったキャンパスを残しつつ、一人一人が自分の色でそのキャンパスに新しい歴史を描いていきたい」という思いだったはずですが。

その思いから「飛翔」というスローガンを捉えても、**目標をもち、粘り強く努力し続け、お互いが描こうとしている歴史のために協力し合う**ことが必要になってくるということを感じます。

皆さんがもつ**目標**、その目標を達成するための**粘り強く努力する姿**、そしてその努力の過程での**思いやりのある言動による協力し合う姿**、これらの姿が新たな歴史、即ち、躍動感あふれる「飛翔」の姿を刻むことになるのを楽しみにし、皆さんの更なる成長を期待します。

☆学校の様子はホームページでもご覧いただけます。よろしくお願ひします。

HPアドレス [http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/jh-school/06fujinekita/index.php?page\\_id=0](http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/jh-school/06fujinekita/index.php?page_id=0)

静岡県内に緊急事態宣言が発令され、現在学校では様々な制限を設けて毎日生活しています。2学期開始後も感染対策の徹底、部活動の中止等、生徒たちには多くの我慢を強いなければならず、抱えるストレスも大きなものがあると思われます。そんな中、2大行事であるかたかご祭を、「飛翔」のスローガンのもと、下記の日程にて開催することとなりました。現在、生徒会中心に企画、練習計画等を立案しているところです。限られた時間ではありますが、生徒たちの素敵な姿が随所に見られることと思います。根北中生のパワー全開の姿が見られることを期待しています！

**お知らせ① 「かたかご祭 体育の部」について** ※今年度も平日開催とします。

○日時 10月14日(木)開会式8:05～ 閉会式11:45～ 雨天順延(15・18・19日)

○会場 富士根北中学校 グラウンド

○感染症対策を徹底し、種目も工夫して実施します。

○参観可能な人数は、各家庭2名までとさせていただきます。

○当日は給食があります。プログラムも午前中で終了しますので、グラウンドで保護者と昼食を食べることはありません。

○「密」を避ける意味もあり、例年のような「大きなクイックシェード(テント)」の設営はご遠慮ください。

○来賓はPTA会長のみとさせていただきます。



**お知らせ② 「かたかご祭 文化の部」について**

○日時 11月4日(木) 開会式9:50～ 閉会式11:50～

○会場 富士根北中学校 体育館

○詳細は後日プリントにてお知らせします。



**体育祭の練習が始まりました！**

**はごろも夢講演会開催！**

体育の授業で、全校体操で行うラジオ体操と、北中ソーランの練習が始まりました。

ラジオ体操は細かなところまで意識して正しくやると、非常に効果的な体操であることが分かります。全校生徒76人で一斉に行うラジオ体操を、キビキビと正しく行うために練習しています。

北中ソーランは、昨年度初めて体育祭のプログラムに入り、今年度もプログラムの最後に行います。1年生は初めて踊るため、3年生に教えてもらいながら必死に覚えています。

当日の演技に注目です！



ラジオ体操名人を目指して

北中ソーランを教える3年生



ソーシャルディスタンスを充分にとつての練習

8/31(火)、公益財団法人はごろも教育研究奨励会主催の、「はごろも夢講演会」を開催しました。講師に、日本LGBT協会代表理事の清水展人様をお迎えし、講演していただきました。清水様はご自身が性同一性障害と診断され、経験をもとに性的マイノリティへの理解を広げるため、全国各地で講演を行う等活躍されている方です。コロナ禍のためオンラインでの実施となり、直接話を聞くことはできませんでしたが、スクリーンを通じて語ってくださる話を、真剣に聞いている生徒たちの姿が印象的でした。性的マイノリティについて理解し、偏見や差別をなくすことや、多様性を認め合い、誰もが自分らしく生きることのできる社会を創造していくことの大切さについて学ぶことができた有意義な時間となりました。

